



1 モデル事業対象地域の現況

消防本部	人口（人）	面積（km ² ）	非常備町村を含む県内の広域化等の状況
宇和島地区広域事務組合	87,687	808.51	両消防本部の管轄する地域は、山、海、盆地等を有し、西側にリアス式海岸、北東側に日本三大カルストである四国カルスト高原を有し、高低差1,400mの地形からなっており、高知県と隣接している。
西予市	36,909	514.34	
計	124,596	1322.85	

2 現状・課題、モデル事業の内容

課題	事業内容
<p>○平成30年7月豪雨での被災経験により、情報収集及び情報共有に危機感を抱いていることから、指令業務の共同運用を検討している。</p> <p>○緊急通報指令装置による災害情報の収集並びに市町の災害対策本部との情報共有について、次に掲げる事項が課題となっている。</p> <p>〈検討課題〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指令システムの規格・基地局の設置場所 2. 災害情報共有システムの整備・構築 3. 防災行政無線の接続・運用方法 	<p>○左記課題を解決するため、外部委託調査によるシミュレーションを行い、効率的、かつ効果的な指令システムの構築、運営方法の検討を実施 ○事業期間：令和2年7月～令和3年2月 ○事業費：770千円</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. II型以上の共同指令センターの規格かつ両消防本部間における電波の伝搬等において効果的な基地局の設置箇所を調査しシミュレーションを実施 2. 共同指令センターで受信する災害情報を、リアルタイムで市町等の災害対策本部が共有できるシステムの整備構築について調査を実施 3. 各市町の防災行政無線を共同指令センターで運用することにより、火災時等における現場活動要員の増強が見込まれることから、接続方法及び運用方法について調査しシミュレーションを実施 4. 現在使用している指令システムの更新時期が異なる等の理由により、今回参加できなかった近隣消防本部の後年加入を視野に入れた、共同指令センターの整備について調査を実施

3 成果及び今後の展望

成果	今後の展望
<ol style="list-style-type: none"> 1. 指令台の規格、基地局の設置場所 〈指令台〉高機能消防指令センター総合整備事業に規定するII型 〈基地局〉消防救急デジタル無線の交信エリア拡充のため、基地局の1カ所増を要する設置（5→6） 2. 災害情報共有システムの整備・構築 構成市町間で災害情報を共有するための高機能なシステム等の導入 ①画像伝送システム ②情報共有システム ③消防用高所監視カメラ施設 3. 防災行政無線の接続・運用方法 現在手動で行っている各市町への放送を指令台と連携したシステムの導入により自動化し、迅速な消防団員及び住民への災害情報の周知が可能となる。 4. 近隣地域における広域化・共同運用の連携 共同指令センターに導入する装置は、II型であるため、今後他の3消防本部が追加された南予地域全体の5消防本部で運用した場合においても、十分に運用できる規格、性能等を保有している。 <p>上記のとおり、この地域における共同運用の実施可否についての判断材料を得ることができた。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. スケジュール 令和7年4月1日：共同指令センターの運用開始を目指す。 ・令和3年度：共同運用検討委員会で諸問題を解決する。 ・令和4年度～6年度：実施設計及びシステム構築 2. 今後実施すべき課題の解決 ・事業費の案分方法 ・共同指令センターの設置場所の決定 ・共同指令センターの組織編成及び部隊運用の整理 等 3. 南予地域における指令業務の共同運用 今後、南予地域全体の5消防本部でも、今回整備するII型で十分対応可能であることから、南予地域における検討委員会において継続して検討していくこととする。 <p>【連絡先】宇和島地区広域事務組合消防本部 警防課 0895-20-0119</p>